



うどんタクシー

直径約30センチの鉢にこんもりと盛られためん。エビの天ぷら2つとうどんの文字が踊る。讃岐うどんをテーマにした人気の映画「UDON」そのままのあんどんを載せた「うどんタクシー」が通る。かると、こんぴら参りの観光客も驚きの表情をみせる。

3年前の讃岐うどんブーム



で有名店を案内するうどんタクシーを始めた琴平町の琴平バスは「UDON」の撮影に全面協力。同社のタクシーは主人公を実家の松井製麺所から高松空港まで送る場面などで活躍し、スクリーンに何度も登場している。

これまでもうどん形のあん

あんどん 映画公開で好評

どんを使用してきたが、映画の公開を機に、うどんの文字を掲げた新バージョンに変更。あんどんはマグネット式で着脱が可能で現在3台が運行。有名うどん店の1玉の重さやぶっかけうどんなどの知識を問う筆記やガイド、うどん打ちの社内試験に合格した専任ドライバー7人が交代で運転している。

また、金刀比羅宮の参道口にある待合所では、劇中の運転手「水原保」の名札や制服、帽子などもあり、着用して記念撮影する利用者も多いという。

うどんタクシーは1時間で2件のうどん店を巡るうどんツアー(3800円)なども行っている。映画のようにあんどんから湯気は立たないが、同社企画担当の山地英登さん(27)は「公開後はこれまでに以上に好評であんどんの数を増やしていきたい」と話している。